

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 32 週（ 2024/8/5～8/11 ） 感染症発生動向調査速報値（ 2024/8/14 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **480** 人、定点医療機関当たり **10.21** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

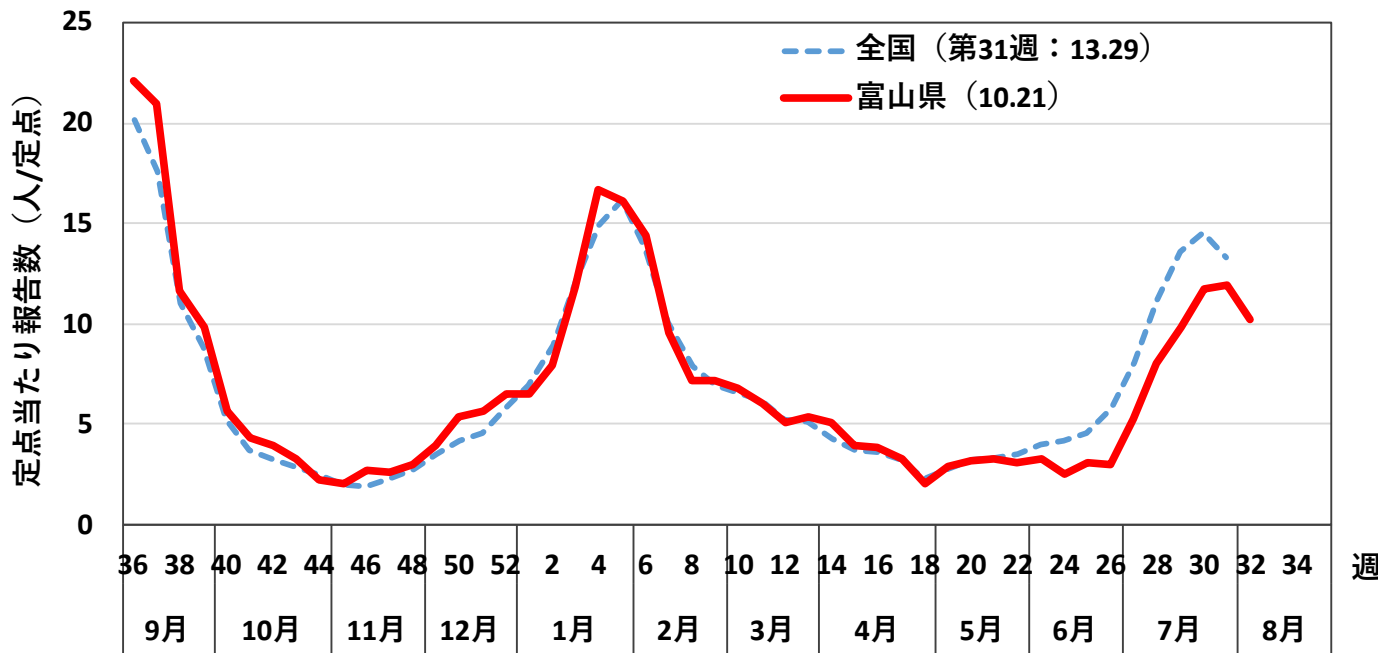
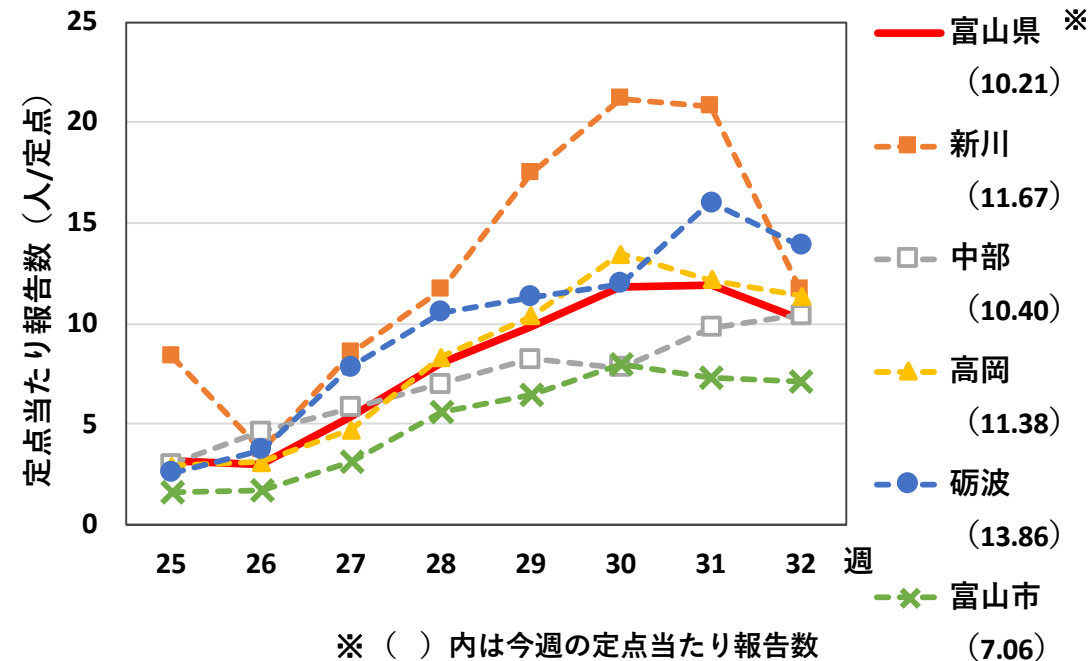


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は10.21人/定点であり、先週（11.94人/定点）から減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、すべての管内で減少または横ばいであった（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

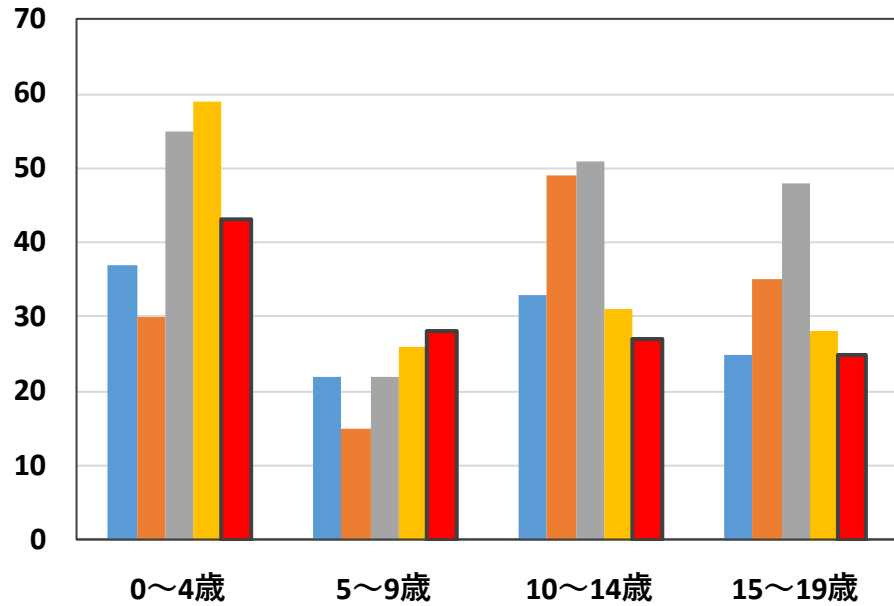
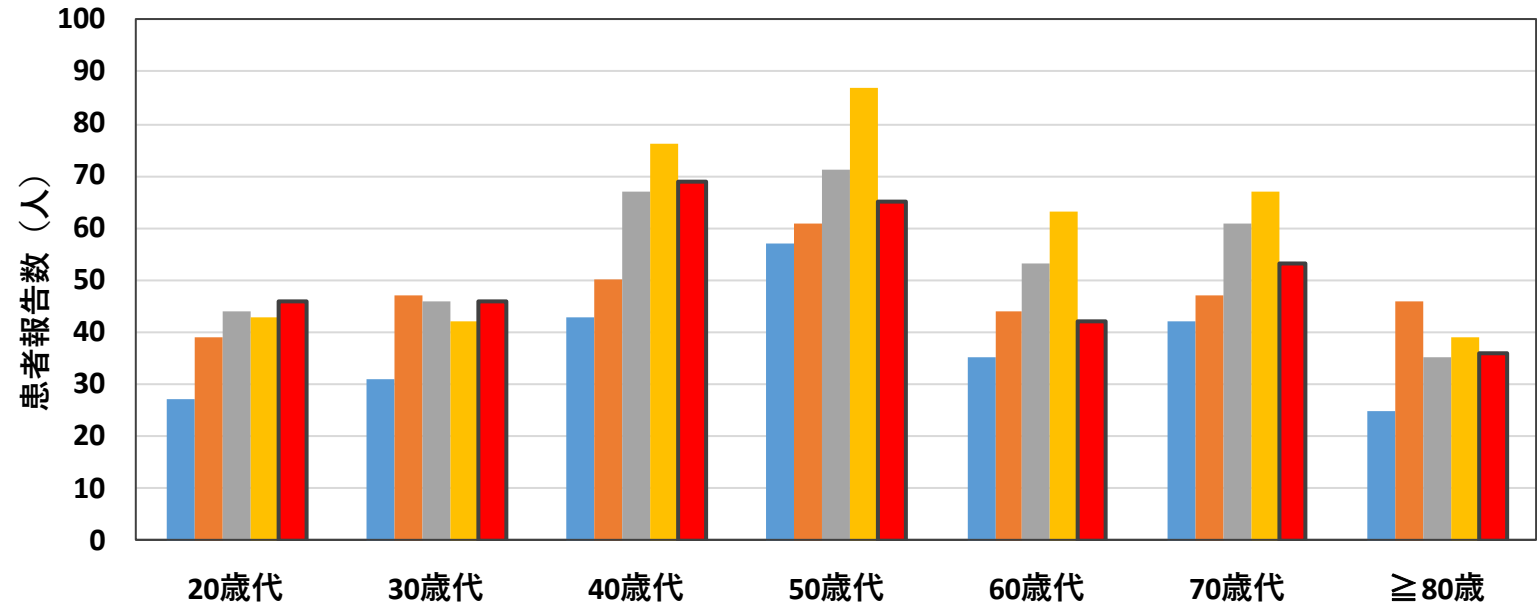


図3-2. ≥20歳



■ 第28週 ■ 第29週 ■ 第30週 ■ 第31週 ■ 第32週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～4歳、50～70歳代で先週から減少し、それ以外の各年齢層では先週からほぼ横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

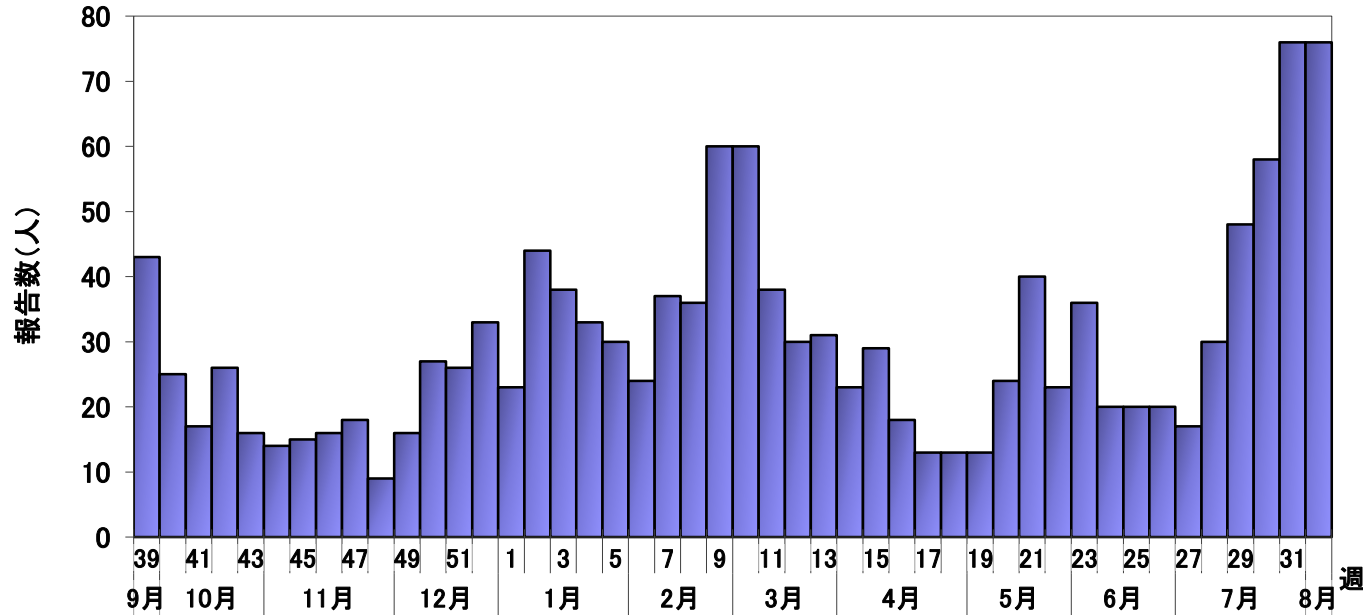
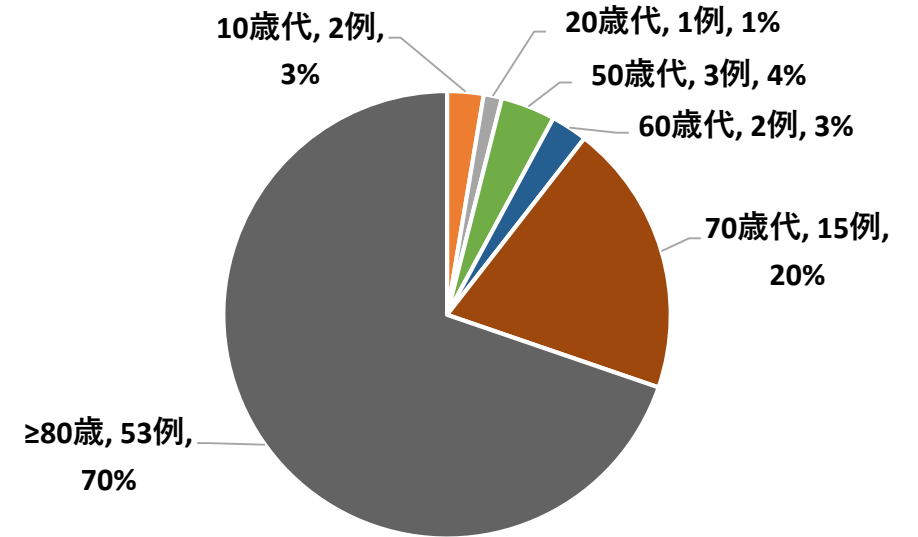


図5.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第32週、76例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第32週に76例の入院報告があり、先週（76例）と同様に高いレベルで推移した（図4）。
- 患者の年代は、70歳代が15例、80歳以上が53例で、70歳以上が90%を占めた。10歳代、60歳代で各2例、20歳代で1例、50歳代で3例の報告があった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第27週以降増加傾向となっていたが、今週は先週から減少した。しかし入院患者報告数は依然高いレベルで推移しており、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。